



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 345

November 2019

NPO法人 神戸日独協会

〒651-0087

神戸市中央区御幸通8-1-6 神戸国際会館19F

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <http://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE
GESELLSCHAFT KOBE

International House Kobe 19F

Goko-Dori 8-1-6 Chuo-Ku

651-0087 KOBE/JAPAN



クリスマス祝賀会のお知らせ

今年も恒例のクリスマス祝賀会を開催します。クリスマス祝賀会は、神戸日独協会の最も伝統ある重要な行事の一つです。

多くの会員にご参加をいただき、この一年の協会での活動を振り返り、楽しい懇談の一夜を過ごしていただきたく、ご案内いたします。

祝賀会に先立ち、今年は日本・ハンガリー友好150周年ですので、協会のドイツ語講座をご担当のハンガリー出身のマーチャーシュ・クーセギ先生にオーストリア・ハンガリー帝国の歴史についてお話をいただき、ハンガリーの民族ダンス・民族音楽・民族衣装の紹介とソロダンスの披露をしていただきます。参加者にもハンガリーダンスを教えていただき全員で踊ることも予定しています。先生の軽妙な解説によるハンガリーダンスへの誘いが楽しみです。

祝賀会では例年のようにクリスマスソングを参加者で合唱をしてクリスマスのお祝いをし、お楽しみ抽選会も行います。会員の皆様からも景品のご提供をお願いいたします。

美味しいお食事や会員との懇談を楽しみ、クリスマスを会員みんなで祝賀しましょう！

ご参加をお待ちしています。

日 時： 2019年12月8日(日) 17:00～20:00 (受付は16:30から)

会 場： 神戸倶楽部 (Kobe Club)

〈神戸市中央区北野町4-15-1 TEL 078-241-2588(代)〉

会 費： 会員 7000円 一般 7500円 (着席ビュフェ、飲物は各自払い)

定 員： 80名 定員になり次第締め切らせていただきます。

申込・問合せ：NPO法人 神戸日独協会 事務室

12月5日(木)までに事務室に電話・ファックス・メールで申込の上、同封の
払込用紙にて会費をお振込み下さい。

月～金の 12:00～18:00 に TEL/FAX 078-230-8150 E-mail:info@jdg-kobe.org

※払込用紙の通信欄に「クリスマス」とご記入下さい。

2020年関西地区 日独協会合同新年会

2020年の関西地区日独協会の合同新年会を、1月11日(土)に開催いたします。

関西地区の大阪、神戸、奈良、和歌山、大津、京都の日独協会は、平素より互いに連携をして、日独親善交流に努めています。合同新年会は、各日独協会の会員が新春に集まり新年を祝賀し、相互の懇親を深めるために毎年年頭に開かれているものです。今回も好評の餅つきを行います。会員の皆様にはこの合同新年会に是非ともご参加いただき、新しき年のドイツとの交流についてご歓談していただきたく、ご案内いたします。

日 時 : 2020年1月11日(土) 18:00~20:00

場 所 : アサヒスーパードライ梅田
ニッセイ同和損保フェニックスタワーB1 TEL06-6311-2829
JR大阪駅徒歩10分、御堂筋線梅田駅徒歩10分
地下鉄谷町線東梅田駅、JR東西線北新地駅徒歩5分

会 費 : 当日 各自実費清算。
餅代として300円程度をいただく予定です。

申 込 : 参加ご希望の方は、1月9日(木)までに、事務室にご連絡ください。
お早めにお申し込みください(事務室閉室中はFAX、メールにて)。
TEL/FAX 078-230-8150 E-mail:info@jdg-kobe.org

2019年度第Ⅳ期開講

1月14日(火)からドイツ語講座・ドイツ文化教室の2019年度第Ⅳ期が開講します。

近年会員の方の講座・教室への参加が少なく憂慮されています。協会ではこのグローバル時代に対応できるように、ドイツ語での各種情報の理解、情報の発信ができるような授業内容を提供するように努めています。

言葉は生きています。ドイツ語も生きています。時代と共にその使用も変わってきます。いざ現在のドイツ語に接したり使用する時に、独和辞典・和独辞典の助けを借りても理解できなかつたり、言い表わせない経験をお持ちではないでしょうか。

神戸日独協会のドイツ語講座では授業経験の豊富な講師が、文法の授業であれ、講読の授業であれ、まして会話中心の授業では「今のドイツ語」を念頭に授業を行っています。

講座内容については、パンフレットを同封いたしますので、ご覧いただくか、事務室へお問い合わせください。新年からドイツ語講座・ドイツ文化教室に参加しませんか。奮ってご参加ください。

「対話で愉しむドイツの社会文化」

この「対話で愉しむドイツの社会文化」は10月から始まった神戸日独協会の新しいドイツ文化講座です。私たちはドイツへ行って自ら見たり参加することによって、あるいは日本でテレビ・書籍などによってさまざまなドイツ文化に接しています。ドイツの伝統ある、または現代的ないろいろなドイツ文化を社会文化的な観点から捉えて、それらの魅力に対して一層の理解を深めることを目的とする講座です。この講座では従来のように講演形式ではなく、日頃その文化に深い関心を持ち研鑽を積んでいる方々の対談あるいは鼎談形式でその文化の魅力を追求します。

すでにご存じのドイツ文化を改めて社会文化的現象として捉えることによって、新たな発見をしませんか。多くの方のご参加をお待ちしています。

(担当理事: 杉谷眞佐子、押尾愛子)

第2回 社会文化的現象としてみた

「バイロイト・フェスティバル」の魅力 (続)

世界的に有名なワーグナー・オペラの祭典「バイロイト・フェスティバル」。日本でもファンは多く、既に多くのことが語られてきましたが、今回、神戸日独協会では少し趣向を変え、諸映像をもとに、この音楽祭を社会的現象としてみた際の面白さについて、参加者の皆さんと自由に語り合いたいと思います。

例えば、初日、メルケル氏などの政治家や俳優など著名人がレッドカーペットの上を劇場へ向かう姿とそれを追うカメラ。そして厳かな開演風景。複雑な舞台や演出がどのように創られていくのか、この「からくり」を紹介する番組が、分かりやすいドイツ語で子供向け番組として放映されました。

第1回の10月27日は、これらの映像の紹介後、文藝春秋10月号に掲載された、村上春樹の「バイロイト日記」を読みながら、昨年と今年の初日を飾った“Lohengrin”を中心に、バイロイト音楽祭を辿ってみました。

第2回では、“Hitler und der Wagner Clan”などの映像に即して、第一次世界大戦後誕生したワイマール共和制の政治的・経済的混乱のなかでのワーグナー家の人々とヒトラーの接近・相互援助(利用)関係、そして戦後の非ナチ化政策の中での(芸術的?)再生への努力がテーマになります。政治と芸術の複雑な関係も見えてくることでしょう。

オペラや音楽の専門家でなくても愉しめるドイツの社会文化現象として、皆さまはどのようにご覧になるでしょうか？第1回目に参加されなかった方も参加できます。皆さま方のご参加をお待ちしています。

対談者: 杉谷眞佐子さん(司会)紹介

専門はドイツ語教育・外国語教育政策。「外国語の学習のためのヨーロッパ共通参照枠」(CEFR)では、運用力を構成する一般能力中に外国の社会や歴史に関する知識が含まれている。異言語・異文化学習の統合、具体的には現代ドイツ社会・文化の学習と絡めたドイツ語学習を目ざす。関西大学名誉教授。

押尾愛子さん(話題提供)紹介

1977年に株式会社ユーハイム入社後、ドイツ店(フランクフルト)で3年間勤務(その後も度々長期出張)。その間ほぼ毎週オペラを見る。5年前にユーハイムを退職後は、毎年オペラを見にヨーロッパへ行く。今年はザルツブルク音楽祭とバイロイト音楽祭。

日 時: 2019年12月1日(日)14:00~16:00

場 所: 神戸日独協会会議室

参加費: 500円

申込み: 11月27日(水)までに事務局へメール・電話・ファックスでお申し込みください。

☆ 先着30名で締め切らせていただきます。

第1回「社会文化的現象としてみた『バイロイト音楽祭』の魅力」の感想

学びのきっかけとしての文化

会員 合田 憲司

この度、10月27日の「対話で愉しむドイツの社会文化」というイベントに参加させていただきました。その時のことについて紙幅をいただきましたので、拙筆ながら少しお伝えできればと思います。

第1回のタイトルは「社会文化的現象としてみた『バイロイト音楽祭』の魅力」でした。皆さんご存知のバイロイト音楽祭のローエン格林、と始まった今回の催しですが、日独協会に所属していながらお恥ずかしいことに聞いたことのないものでした。バイエルン州のフランケン地方にあるバイロイトという小都市で行われる非常に有名な音楽祭だそうです。また、ワーグナーが自分の作品のために自ら建築に携わったオペラハウスで行われるもので、チケットを取るためには短くとも5年は申し込み続ける必要があるほど参加するのは大変なものだったとのことでした。

今回講師を務めていただいたのは理事の押尾氏と杉谷氏でした。前半と後半に分かれており、前半では2018年の音楽祭の様相について映像を使って杉谷氏から説明があり、後半は押尾氏よりバイロイト音楽祭の歴史について説明がありました。指揮者や演出家の話もありましたが、私はオペラに不案内なこともあり、昨年の音楽祭では子供を起用した演出をおこなったこと、この音楽祭はワーグナーの家系によって受け継がれてきたこと、実際にオペラハウスで音楽祭という形となったのはナチスの影響があったということが印象に残っています。お二人とも非常に博識で面白いお話を聞くことができました。

また、直接の内容とは関係ないですが、講座が始まる際の柘田会長の挨拶にあった日本の外国語教育において「やり取りをする能力」が不十分であるという話と、ヨーロッパでは外国語を学ぶ際には言語だけでなく、それぞれの国の社会や文化、歴史についての知識についても同時に学んでいるという杉谷氏の話は非常に印象に残っています。ドイツ語に限らず、言語はコミュニケーションのための道具にすぎず、そのきっかけとしてコミュニケーションをとる相手に興味を持つことが大切だということなのだろうと思います。

「バイロイト音楽祭」の魅力 — 講座を拝聴しての雑感

岩佐 えり子(An die Musik 主宰)

自身の主宰するコンサートが終わり、時間の余裕も出来たので出掛けたレクチャー。実はワグネルアンではないどころか、その反対のブラームスにより興味を持つ者であり、この様な私がお邪魔して良いか?と思いつつの参加でした。

会場には既に熱心な聴講者が着席されていて始まった講座。

「社会文化的現象としてみた」との副題がある様に、現代のドイツでの子供達への親しみやすいテレビ放送の事、作品が上演されるまでの舞台裏の事情などをDVDと解説して頂き、思わずどんな舞台になるのかの興味が湧いてきます。

その昔に訪れたバイロイト。アンチとは言え、その舞台くらいは見ておくべきかとバックヤード見学に参加しました。流石にワーグナー自身の作品を存分に表現する為の工夫があらゆる所にあり、感嘆したものでした。舞台装置変換の為の広大なスペースに、視覚を刺激しないオケピットの作りなど。ただその舞台自体がかなり湾曲しており、舞台に立つ歌手達は大変であろうと思いを馳せたり。

客席の固く四角い小さな椅子を見た時は「こんな椅子の上に何時間も座って聴くなんて!」と思わず拒否反応が出ていました(Verona の Arena ではそれこそ硬い石の上に夜中の1時までオペラを鑑賞しましたが…)。そうして毎年バイロイト詣をする各国の政治家達にも私の心は魅了される事は無かったです。しかし今回始まったこの講座では現在の様子を丁寧に教えて頂き、何かに肩入れするのではなく、現代の事情を伝えて頂きました。

資料としていただいた村上春樹氏の文章も興味深く、私個人的にはただの好き嫌いで物事を判断している自身の稚拙さに赤面の思いでした。

世の中には沢山の音楽があり、自身の求める物は持ちつつ、広く社会を勉強していかねばならない事を今更ながらに、「学ぶ」という根本姿勢を思い出させて頂きました。

大変興味深いこのシリーズが次回も開催されます事、知的好奇心旺盛な皆様に素敵な機会となります事を心よりお祝いしたいと思います。

2019年度ドイツ菓子講習会

2019年度第2回ドイツ菓子講習会のご案内

昨年度開催しましたドイツ家庭料理講習会シリーズに引き続きまして、2019年度はそのお菓子編として、2019年11月に第1回ドイツ菓子講習会を開催し、ご好評のうちに終了しました。ご参加の皆様にはありがとうございました。

引き続き、本シリーズ第2回目のドイツ菓子講習会を、以前にもご指導いただきました、お料理研究家の日下部管子さんにご指導して頂きます。日下部さんがドイツ留学時代にホームステイされた、ヘルマン家定番のお菓子も教えて頂きます。多くの皆様ご参加いただきますようご案内いたします。

- ◇日 時 : 2020年1月26日(日) 10:00~14:00 (10時までに集合してください)
- ◇場 所 : 芦屋市立潮芦屋交流センターの料理教室
芦屋市海洋町7-1 (0797-25-0511)
阪急・JR・阪神の芦屋駅より阪急バスで潮芦屋中央バス停下車すぐ。
- ◇後 援 : 芦屋市立潮芦屋交流センター
- ◇メニュー : 1 リンゴのケーキ (Apfel-Kuchen)
2 玉ねぎのケーキ (Zwiebel-Kuchen)
- ◇参加費 : 1000円と材料費
材料費の概算は、追って参加者にお知らせします
- ◇募集人数 : 30名
- ◇申し込み : 参加ご希望の方は、2020年1月17日まで、神戸日独協会事務室まで、電話・FAX・メールにてお申し込みください。定員になり次第締め切らせていただきます。(Tel/Fax 078-230-8150 メール: info@jdg-kobe.org)
- ☆ 参加費・材料費は、当日現地でお支払いください。
- ☆ 当日、エプロン、タオル、レシピ(後日参加者に送付)と筆記用具をご持参ください。

2019年度第3回ドイツ菓子講習会の予定

ドイツ菓子講習会シリーズの第3回目は、以前にもドイツ家庭料理講習会でご指導いただいた、ドロテア合田さんに下記要領で教えて頂きます。

- ◇日 時 : 2020年2月23日(日) 13:00~17:00
- ◇場 所 : うはらホールの料理教室 (JR住吉駅すぐ南、東灘区民センター8階の料理教室)
- ◇参加費 : 1000円と材料費
- ◇メニュー : 1 マーブルケーキ (Marmor-Kuchen)
2 チョコレートムース (Mousse au chocolat)
- ◇募集人員 : 24名
- ◇申し込み : 参加ご希望の方は、2020年2月14日(金)までに、神戸日独協会事務室まで電話・FAX・メールでお申し込みください。

第1回ドイツ菓子講習会に参加して

会員 山下 恵

お菓子づくりは苦手で、敬遠していましたが、ドイツ菓子講習会の案内を見て、初めて参加しました。今回は、キルシュシュトロイゼルクーヘンとパンプディング。30年前のハイネマンカフェの甘くないたっぷりのザーネと大きなクーヘン(ケーキ)を懐かしく思い出しました。キルシュ(さくらんぼ)もドイツではよく見かけたような気がします。

菓子づくりは、計量がとても大切だと思いますが、お二人の先生たちが事前に材料の計量し、各グループに配ってくださっていたので、スムーズに作業に入れました。

ドイツで食べていたクーヘンの上ののっていたあのボゴボゴとした食感のものは、このシュトロイゼルだったのだなあと思いました。

最初に先生が実際に作りながらポイントを教えてくださったので、わかりやすかったです。簡単な生地づくりに思いましたが、バターの温度と材料を入れるタイミングと量、そして混ぜ方がとても大事だと思いました。

パンプディングの方は、火加減に注意しながらつくるカラメルづくりが意外と繊細でびっくりしました。

出来あがったキルシュシュトロイゼルクーヘンは、外は固めで、中はしっとりしていて、キルシュとよく合いとても美味しかったです。ふんわりとしたパンプディングはとてもなめらかで、パンを入れることで食べごたえがありました。

初めてお会いする皆さんとも楽しくおしゃべりでき、とても充実した時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

神戸日独協会会員によるコンサート

昨年度に引き続きまして、神戸日独協会会員による早春コンサートを開催いたします。2020年は、ベートーヴェンが1770年に生まれてから250年になります。今回のコンサートはベートーヴェン生誕250周年をテーマに開催いたします。

日時：2020年3月14日(土) 15:30開演 (15:15時開場)

会場：音楽ホール&ギャラリー里夢 SATOM (Tel 078-821-2140)

(神戸市灘区曾和町1-4-2-B1、阪急六甲下車2番出口 山側へ徒歩約6分)

会費：会員及び会員のご家族・ご友人 1000円 一般 1500円

プログラム(予定) ベートーヴェン ピアノソナタ8番悲愴より
ピアノソナタ30番 OP109
ピアノソナタ14番 OP27-2
ピアノソナタ29番 OP106

出演者：バイオリン 高橋 愛さん
ピアノ 福田 可織さん
ピアノ 平山 梨絵さん
ピアノ 上杉 恵一さん

チケット予約：2020年3月6日(金)午後5時までに、神戸日独協会事務所までご連絡ください。

Tel/Fax 078-230-8150 E-mail : info@jdg-kobe.org

会費は、郵便振込・銀行振込、もしくは当日会場でお支払いください。

郵便振込 記号01160-9 番号18199

加入者名 特定非営利活動法人神戸日独協会

銀行振込 三井住友銀行 神戸営業部 普通 8004770

口座名義 特定非営利活動法人神戸日独協会

ドイツ語談話室

第190回ドイツ語談話室

日 時 : 2019年9月21日(土) 14~16:00

場 所 : 神戸日独協会会議室

テーマ : 外国人との共生

今回の司会は松浦庸夫氏が担当され、参加者の皆さんの外国人との共生の経験や意見を聞かれた。今回も来日中のドイツの方の特別参加があり、各々意見を述べられた。

多くの経験談や意見がでたが、その一部を下記紹介する。

- 外国人との良き共生の為には、相手の国の生活習慣や文化的背景をよく知る必要がある。
- 日本では、外国人との共生の為の努力が十分なのか、自問する必要がある。
- スポーツの世界でも、多くの外国人選手との共生が大切になってきている。
- ドイツから来て永年日本に住んでいるが、周りの人々は親切で安心して楽しく暮らしている。

第191回ドイツ語談話室

日 時 : 2019年10月19日(土) 14~16:00

場 所 : 神戸日独協会会議室

テーマ : 環境保護

今回の司会は松浦庸夫氏が担当され、現今の環境保護問題の大きなテーマとして、地球温暖化問題とプラスチックによる海洋汚染の問題を取り上げられた。参加者の皆さんからも、それぞれ多くの意見や問題点の指摘が出たが、その一部を下記紹介する。

- CO2ガス問題では、中国とアメリカが最悪の国なのに全く責任を感じていない。
- 食料品の廃棄問題は、日本でもドイツでも大きなテーマだ。
- 日本でも、炭素税の導入が肝要である。
- ゴミの分別は大切であるが、リサイクルはコストが大きく掛かり、多くは焼却されている。
- 産廃を含め燃えないゴミがどんどん増え、20年以内に埋め立て用地が無くなりそうだ。
原発廃棄物の処分も、埋め立て用地を含め問題だらけである。

今後のドイツ語談話室の予定

第192回 2019年11月16日(土) 14~16:00 テーマ : 学校時代の思い出

第193回 2019年12月21日(土) 14~16:00 テーマ : オリンピック

(12月はワインを楽しみますので、各自おつまみをご持参ください)

Deutsche Gesprächsrunde

Protokoll der 190. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag 21. September 2019, 14 bis 16 Uhr

Thema: Zusammenleben mit Ausländern

Dieses Mal hatte Herr Tsuneo Matsuura die Gesprächsleitung und fragte die Teilnehmerinnen und Teilnehmer nach ihren Meinungen und Erfahrungen im Zusammenleben mit Ausländern. An der Gesprächsrunde hat auch eine Familie aus Deutschland, die sich gerade auf Besuch in Japan aufhält, teilgenommen. Unter anderem kam es zu folgenden Wortmeldungen:

- Fürs Zusammenleben mit Ausländern ist es wichtig, die Gewohnheiten und kulturellen Hintergründe dieser gut zu verstehen.
- Es ist zweifelhaft, ob in Japan genug für das gute Zusammenleben mit Ausländern unternommen wird.
- Im Sport ist Zusammenarbeit und Zusammenleben mit Sportlerinnen und Sportlern aus dem Ausland sehr wichtig geworden.
- Eine Teilnehmerin aus Deutschland, die schon lange in Japan wohnt, findet die Menschen sehr nett, das Leben ist angenehm hier.

Protokoll der 191. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag 19. Oktober 2019, 14 bis 16 Uhr

Thema: Umweltschutz

Dieses Mal hatte Herr Tsuneo Matsuura die Gesprächsleitung und sprach von den beiden größten Umweltproblemen unserer Zeit, der Erderwärmung und der Verschmutzung der Meere durch Kunststoff. In der Gesprächsrunde wurden diese Themen besprochen. Hier einige Wortmeldungen:

- Die größten Produzenten von CO₂, China und die USA, zeigen wenig Verantwortungsbewusstsein.
- Das Wegwerfen von Nahrungsmitteln ist ein großes Problem in Japan wie auch in Deutschland.
- Wir brauchen die Einführung einer Kohlensteuer auch in Japan.
- Mülltrennung ist wichtig, wegen der großen Kosten, die bei Recycling anfallen, werden große Teile jedoch verbrannt.
- Der nicht brennbare Müll, inkl. Industriemüll, nimmt immer mehr zu. In 20 Jahren wird es keinen Ort mehr in Japan geben, wo man diesen Müll vergraben könnte. Dieses Problem gilt vor allem auch für den Atommüll.

Nächste Treffen

Samstag 16. November 2019, 14 bis 16 Uhr, Thema: Erinnerungen an die Schulzeit

Samstag 21. Dezember 2019, 14 bis 16 Uhr, Thema: Die olympischen Spiele

行事・催し報告

元大阪・神戸ドイツ総領事オルブリッヒご夫妻を囲む会

理事 押尾 愛子

去る10月29日、2009年7月から2013年7月まで大阪・神戸ドイツ総領事を勤められたオルブリッヒ氏ご夫妻が来日され、神戸日独協会では「ご夫妻を囲む会」を催しました。

オルブリッヒ氏は、現在は退官され、今回ご夫妻は、元気なうちに懐かしい日本をもう一度見ておきたいとプライベートなご訪問で、「囲む会」もご夫妻の意向を受け、第一部がドイツ語講座の見学、第二部でビールを飲みながらの懇親会と、親しみやすい形になりました。

第一部のドイツ語講座は、柘田先生が講師をされる Deutsche Welle のクラスの見学です。このクラスでは、Deutsche Welle の記事をテキストにしていますが、最近では環境問題についての記事が多く見られ、この時のテーマは“食物と環境の関係”です。簡単に言うと“畜産は地球温暖化の原因であるCO2の排出量が多いので、ドイツでも肉の消費を減らそう”というものです。また最近のテキストに、“エネルギー消費量の多い飛行機よりも、列車を使うほうが環境にやさしい”というのもありました。

一通りテキストを訳し終えた後で、オルブリッヒ氏がこれらのテーマにコメントをつけて下さいました。オルブリッヒご夫妻も魚を食べることが多いし、ドイツでは最近、肉を食べない菜食主義(ベジタリアンやビーガン)の動きがあり、ベルリンにお住いのご子息もそうだとか。それでレベッカ夫人は普通の料理と、ご子息用の別の料理を作ることもあるそうです。また、ドイツでは近距離は飛行機ではなく列車を使うという動きがあり、フランクフルト～デュッセルドルフ間の飛行機などは廃止されているそうです。

さて、その後は会場を移して懇親会。オルブリッヒ氏は大阪・神戸ドイツ総領事在任中に、ご自分の管轄する日本の府県をくまなく回ったそうで、日本のことをとてもよく御存じです。この日、たまたま私は七五三の帰りだったのですが、七五三の説明をドイツ語で始める前に、即座に日本語で「ああ、七五三ね」と御存じでした。ご夫妻は今でも日本語がとてもお上手です。

また、オルブリッヒ氏は、柘田先生曰く、歴代の総領事の中で“一番酒付き合いのいい人”だそうで、この日もオルブリッヒ氏は次から次へと参加者に囲まれて、ドイツ語と日本語を交えての和やかな歓談は、いつまでも続きました。

会員の広場

ピアニスト河村尚子さんの紹介

理事 島多 峰史

第156回直木三十五賞、第14回本屋大賞の史上発ダブル受賞の小説、恩田陸『蜜蜂と遠雷』が映画化され、今年の10月より公開されています。その映画で主役の天才少女・栄伝亜夜(えいでん あや)役として女優の松岡茉優さんが演じています。今回は、映画の中で出てくるピアノ演奏場面の吹き替えを担当された河村尚子さんを紹介합니다。

河村尚子さんは、1981年に兵庫県西宮市に生まれ、5歳で渡独し、一時期、デュッセルドルフ日本人学校にも在籍していました。その後、ハノーファー音楽演劇大学で学ばれ、数々のコンクールで優勝・入賞を重ね、ミュンヘン国際コンクール第2位受賞、クララ・ハスキル国際コンクールにて優勝を飾りました。日本においても、2009年度には出光音楽賞、新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞、日本ショパン協会賞を受賞、2012年には芸術選奨新人賞受賞、2013年にホテルオーケラ音楽賞など、数々の賞を受賞しました。

現在は、エッセンのフォルクヴァング芸術大学教授としてピアノ指導者の活躍をされており、日本に帰国の際は、個人的なことですが私の子もレッスンを受けています。今月は日本全国をまわって数々の演奏会を行っており、11月16日(土)は兵庫県立芸術文化センターにて、菊池洋子さんと共に兵庫芸術文化センター管弦楽団と協奏曲を演奏する予定です。機会があれば、「蜜蜂と遠雷」が上演されている映画館や、河村尚子さんが出演される演奏会にも足をお運びください。

ドイツ新事情 —Deutsche Welle の記事から—

ベルリンの壁崩壊から30周年

会長 栞田 義一

1989年11月9日のベルリンの壁崩壊から30年を迎えた。分断の境界近くにあり分断と再統合の象徴であったブランデンブルク門前の広場に集まった人々、当時のデモや記者会見など記録映像が3次元(3D)で映し出された建物の壁面、ドイツからはこのような光景が報じられている。

この30周年では特に東ヨーロッパ人の当時の役割に焦点が当てられている。ポーランド、チェコ、スロバキア、ハンガリーの東欧4か国の大統領がベルリンに招かれ、シュタインマイヤー大統領は、「ポーランドとハンガリーなしには、チェコとスロバキアなしには我々ドイツ人はこの日を祝うことはできないであろう、彼らなしにはこの日はもしかしたらまったく存在しなかつただろう」と、「我々の歴史と一緒に作った人々」について語っている。壁の一部が残りベルリンの壁記念館のあるベルナウアー通りでの記念式場で、シュタインマイヤー大統領とメルケル首相は東欧の4大統領と共に壁のすき間に赤と黄色のバラの花を挿しこみ、それをもって象徴的に壁に穴を開けた。多くの市民もそれにならい壁のすき間にバラの花を挿しこんでいる写真も報じられている。

11月9日は1938年に民族主義者たちによるユダヤ人虐殺の夜(Pogromnacht)でもある。この壁崩壊の記念日である「11月9日は、我々が憎悪と人種差別と反ユダヤ主義に断固として立ち向かわなければならぬと諫めてもいるのだ」、「我々が今晚感謝をもって、目に涙を浮かべ当時の勇気ある人々を思い出すならば、同時に、彼らが戦い取ったものが忘れ去られる様を傍観することは出来ないのだ」、「人が除け者にされ攻撃されることを、民主主義が消え去ることを、この国での団結が破壊されることを容認してはならない」と大統領は警告している。壁の崩壊により東西の

冷戦が終結し、ヨーロッパ統合の起点となりその後統合が進んだ。しかし主に経済格差や移民の流入により「ドイツを横切るように欲求不満や憤激や憎悪から生じる新しい壁が生まれている」この時代こそ、「人自らだけがこの壁を再び取り壊せるのだろう」、とこの記事は結んでいる。

Deutsche Welle: Berlin gedenkt des Mauerfalls (09.11.2019)より

11・12月実行委員会のお知らせ

11月と12月の実行委員会を下記のとおり開催します。実行委員以外の方にも是非ともご参加の上ご意見をいただきたくお願いいたします。

日時： 11月17日(日)15時～ 12月15日(日)15時～

場所： 神戸日独協会会議室

事務室からのお知らせ

年末・年始の協会事務室の閉室について

12月23日(月)から1月3日(金)まで事務室は閉室します。

※閉室期間中、催し等のお申込み・お問合せはFAX・メールでお願いいたします。

会報発送ボランティア募集

会報の発送を手伝ってくださる方を募集しております。次回の発送予定日は1月9日(木)です。お手伝いいただける方は、事前に事務室へご連絡(TEL/FAX 078-230-8150)の上、12時半頃事務室にお越しください。

これからの神戸日独協会の催し

日時	催し	会場	申込〆切 など
11月16(土) 14:00～	第192回 ドイツ語談話室	神戸日独協会 会議室	当日参加可
11月17日(日) 15:00～	実行委員会	神戸日独協会 会議室	当日参加可
12月 1日(日) 14:00～	対話で愉しむ ドイツの社会文化	神戸日独協会 会議室	11月27日(水)
12月 8日(日) 17:00～	クリスマス祝賀会	神戸倶楽部	12月5日(木)
12月21日(土) 14:00～	第193回 ドイツ語談話室	神戸日独協会 会議室	当日参加可
1月11日(土) 18:00～	関西地区日独協会 合同新年会	アサヒスーパードライ 梅田	1月9日(木)

